



西 区を豊かに

2025年
12月21日発行
第49号

発行者 新潟市西区自治協議会 会長 風間 一夫

事務局 〒950-2097新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
メール: chiiki.w@city.niigata.lg.jp



西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟すいか、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽をのせました。

区自治協は各分野に分かれて地域の課題解決に取り組んでいます！

第1部会

防犯・防災、自然環境、住環境

第2部会

健康・福祉、文化・スポーツ、教育

第3部会

産業、区の魅力発信、交通



あなたの自転車は大丈夫？



今

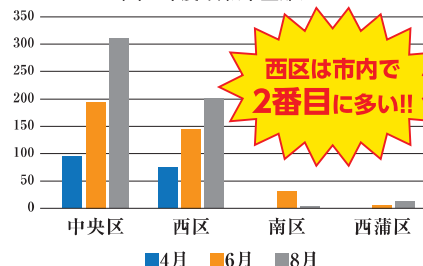
自転車の盗難件数が増えています

西区自治協議会第1部会では、西区民が安心して暮らせるために防犯活動や防災意識を高めるための啓発事業を行っています。そこで今回は、防犯活動の中で取り上げられている「自転車盗難被害」に注目しました。西区は、市内8区の中で被害件数がワースト2位！この現状を区民のみなさんに知ってもらい注意喚起するために、現状を調査し、今後の課題、対策を考えてみました。



防犯事業の
取組はこちらから

令和7年度 自転車盗難データ



西区は市内で
2番目に多い!!

出典 新潟市犯罪発生状況

盗

難被害が多い小針駅に行ってみた



盗難防止啓発のぼり旗



小針駅駐輪場

西区の中でも被害が多い場所と言われている小針駅の駐輪場。新潟西警察署より防犯対策として設置されている「のぼり旗」が目立ちました。

こちらの駐輪場では駅最寄りの学校の生徒さんが多く利用されているとのこと。

そこで、小針駅から学校まで距離が遠く、自転車を駅に置いて通学することが多い新潟工業高校の生徒たちにインタビューをしました！

防

自転車の盗難を防ぐには

Q.盗難被害にあったことはありますか？

A.あります。鍵をかけていない時に小針駅で盗まれました。

Q.鍵をかける対策をしていますか？

A.はい。ただ、時間がなくて焦っていると、しないときもあります。



学校でのインタビューの様子

Q.今後対策をしたら何が良いと思いますか？

A.最低限、1つでも鍵はかけることが大事だと思います。



鍵は2か所以上かけることで被害にあう確率が低くなります

【自転車の盗難を防ぐためには】

インタビューから自転車の施錠の大切さが改めて分かりました。また、新潟西警察署の生活安全課によると被害にあった自転車は圧倒的に無施錠が多いとのことでした。

自転車の盗難を防ぐためには「鍵をしっかりとかける」ことが大切です。さらに鍵を2つ以上かけることにより被害にあう確率は低くなります。

あなたの大切な自転車を「施錠」で守りましょう！

自治協議会の取組の紹介

令和7・8年度の自治協議会は次のテーマに取り組んでいます

第1部会 西区の安全力アップ大作戦

- 防犯・特殊詐欺防止講演会・自転車盗難防止
・地域で開催する特殊詐欺防止後援会のサポート
- ・高校と連携した自転車盗難防止
- 防災・自主防災組織の意識向上
・自主防災会への課題アンケート調査

第2部会 西区「すき間」コネクトプロジェクト

- 中学生の放課後居場所マップ作り(仮称)
・小学5年生～中学3年生へのアンケート調査の実施予定
- 支えあい的大切さ普及事業(あいさつ運動)
・「5のつく日は“ご”あいさつDAY」参加団体の皆さまへのぼり旗等無償提供

第3部会 西区の魅力発信

- 大学生による魅力発信プロジェクト
・公共交通での西区巡りルートの作成
- 農業の魅力発信
・「西区を豊かに」で特集記事を掲載
- 地域の見える化プロジェクト
・コミュニティ協議会への地域概要調査

知っていますか？ ふるさと深掘り

第2回 いま何が起きているの？ 佐潟のリアルな物語



佐潟は「湿地都市・新潟」の象徴

今年も佐潟にハクチョウがやってきた。11月7日現在4762羽(新潟県水鳥湖沼ネットワークの調査)。しかし毎朝、ハクチョウたちは朝8時には飛び立ち、近くの田んぼで餌を拾い、夕方に戻ってくる。佐潟は彼らのねぐらでしかないのだ。

しかし、彼らは知らないだろうが、佐潟ではいま、いろいろなことが起きているようなのだ。

佐潟が1996年にラムサール条約に登録された湿地なのはご承知の通り(国内では54カ所)。さらに、新潟市は2022年に国際的な「ラムサール条約湿地都市」に認定されている(鹿児島県出水市、名古屋市とともに日本国内で3カ所)。

新潟大学名誉教授の大熊孝さん(83)は「新潟市は、総面積の4割が湿地(水田も含む)で、16もの潟がある。水田面積もコハクチョウの越冬数も全国一。文字通り『Wetland City(湿地都市)』と呼ぶべきなのです」という。

そのようなラムサール条約の象徴ともいえる佐潟が新潟市の西区にあるのは誇らしいことだ。

水路整備、ドロ上げ、ヨシ刈りで水質改善

佐潟には幼い頃から親しみを感じていた。小学生の頃は遠足で訪れたこともあった。ラムサール条約に認定されたと聞いて、意味もわからず嬉しく誇

らしく感じたこともあった。

ところが、佐潟には困ったことが起きていたらしい。実際、10年ほど前にはハスやミズアオイなどが水面を覆っていたのに、2017年に訪れたときにはハスが消滅してしまっていた。

「佐潟と歩む赤塚の会(以下赤塚の会)」会長の涌井晴之さん(65)が理由を話してくれた。

「一つは水質の悪化が考えられます。佐潟には流れ込む川がないので、水は湧水と雨水だけ。水が汚れやすいのです。新潟市と一緒に水質調査をしたり、水路の整備やドロ上げ、ヨシの刈り取りなどを行って水質の改善を行ってきました」

1400匹、730キロのアカミガメを退治！

涌井さんによると、水質の改善がうまくいっても、無視できないやっかいものがいるのだという。アカミガメ、アメリカザリガニなど「特定外来生物」の存在だ。

「アカミガメがハスを食べるのがハスの消滅の一因ではないかということで、市民グループの協力を得て2024年から駆除に取り組みできました。2024年度は8月から10月までに1000匹を捕獲しました。今年は、6月から9月までに26回捕獲作業を行い、1400匹・730キロを退治しました」

なんと1400匹……。涌井さんの言葉に一瞬、言葉を失った。すると、いまも、ハクチョウが寝床にしている佐潟の湖底には、たぶん数千匹のアカミガメが生息しているに違いないのだ(捕獲したカメは農業用の肥料にしたという)。

ハスが復活できた!! 少しだけけど……

昔から、佐潟の象徴的な風景といえば、夏はハスの群生、冬はハクチョウの飛来だった(以前は漁

業も行われていた)。

消えてしまったハスを復活させようと、赤塚の会では2020年に、地元の赤塚小学校の子どもたちと「ハス復活プロジェクト」をスタートさせた。

「5年生の時にタネを採取し、6年生になってタネを苗に育て、佐潟に移植し、花を咲かせ、レンコン掘りまでを経験するというものです」

そうした取り組みを重ねてきた結果、2025年には新潟市が支援策としてハス苗を保護する木枠を設置することになった(6m×6m×0.9mを4基)。その木枠の中に赤塚小学校の子どもたちや新潟大学生、赤塚の会などのメンバーがハスの苗を移植。8月初旬には次々にハスの花が咲いた。



ハスのタネ

新潟市は湿地認定都市として湿地や潟に関心を寄せてもらうため、10月に「潟のミカタ」プロジェクトを発足させた。涌井さんは「こうした動きをどのように私たちの活動に浸透させていくかが大事。来年もハスの花を咲かせたい」と語った。



木枠の中にハスを植え

ハスの花が咲いた

■佐潟水鳥・湿地センターは11月から2月末までの毎週土曜と日曜日は、午前7時に開館、センター内から望遠鏡でハクチョウを観察できる。

■取材・文 広報紙編集部 古俣慎吾
*写真は「佐潟と歩む赤塚の会」の提供

西区クイズ

ヒントは本文に



メールでの応募は上の二次元コードから

ふるさと深掘りシリーズ
佐潟をテーマにしたクイズを出題。

答えがわかった人は感想と一緒に送ってください！

Question

いつの間にか佐潟の水底にもぐり込み、佐潟の象徴であるハスを食いちぎり、絶滅に追いやった一因とされる「につくきカメ」は次の3つのうちどれでしょう。

Answer

1.アオウミガメ 2.イシガメ 3.アカミガメ

クイズの答えが分かった人は

以下①～③を記載のうえ、広報紙表面の「事務局」あてに郵送、または電子メールを送ってください。

- ①住所、氏名、連絡先
- ②クイズの答え
- ③紙面の感想や西区自治協議会の活動に対する感想・意見・要望など

応募締切 1月30日(金)(必着) 当選者の発表は商品券の発送をもって代えさせていただきます

抽選で5名に1,000円分の
新潟市佐渡市共通商品券を
贈呈します

